



今年しか見られない! 代行バスと満開の桜のコラボ (4/12自衛隊前)

おらが湊鐵道応援団報

第49号

勝田 | 阿字ヶ浦

がんばっぺ 那珂湊 湊線復興へ商店街から熱い声援

「ドゥナイトマーケット」で復興義援金 呼び掛け

震災で3月は初めて開催を見送った「ドゥナイトマーケット」が4月16日に復活……。 「がんばっぺ那珂湊」をテーマに、地元商店街の心意気を見せてくれました。この日は焼きそばやタコめし、豚汁などを破格の50円で販売。この売上収益金は湊線復興の義援金として寄付されます。

また、海浜鉄道はオリジナルグッズ販売、応援団は50円どら焼きの販売と復興義援金の呼びかけを担当。商店街の3710屋では湊線の被災状況などを撮ったミニ写真展も開かれました。2か月ぶりの開催でいつもより多くの買い物客で賑わいました。



海浜鉄道コーナーもグッズ販売などが好調でした

「ふっか壺」登場

応援団の義援金募金箱はクラシックな壺です。「高校生になったらこの子も湊線にお世話になるからね」と、幼児を連れた親子が何組も募金してくれました。募金額は2時間あまりで約4万7,000円にも。



3710屋での写真展には平磯海岸付近の津波の惨状も展示されています

補助金7,415万円と貸付金1億円を可決

ひたちなか市議会は4月14日に開いた臨時議会で、震災復興関連の補正予算案として総額約93億6,500万円を支出することを全会一致で可決しました。この中で湊線復興関連としては一般会計から1億7,415万円の支出を決定。内訳は年度内無利子の貸付金が1億円、補助金が7,415万円です。

補助金は海浜鉄道による全線の復旧費用見積額の4分の1に相当します。現行の法律では鉄道の災害復旧は国と地方が4分の1ずつ負担する取り決めですが、今回の震災は激甚災害でもあり、今後国の補助率が上積みされる可能性もあるということです。同市議会は22日被災現場を視察しました。

湊線復旧に2億9,660万円

概算見積額



順調に工事が進む溜め池決壊現場

ひたちなか海浜鉄道ではこのほど、湊線の被災状況を調査し、復旧費用が概算で2億9,660万円に上ることを公表しました。内訳は金上-中根駅間の溜め池決壊現場復旧に約1億3,000万円、平磯-磯崎駅間のトンネル復旧に約9,400万円、駅施設や軌道の復旧に7,200万円など。平磯町地内のトンネルは、内部に大きな亀裂が入り大がかりな工事が必要となりました。各駅も那珂湊駅以外の設備はホームの沈下など軒並み被災しました。

湊線復興への義援金の受付を開始しました!

おらが湊鐵道応援団では、皆様から要望の強かった湊線復興義援金受付の郵便振替口座と義援金募金箱を開設しました。応援団でお預かりした義援金は、湊線復活のために役立てられます。温かいご支援をお願いします。

郵便振替 (全国の郵便局から払込できます)

加入者名 **オラガミナトテツドウオウエンダン**
おらが湊鐵道応援団
口座記号番号 **00190-9-710729**

※通信欄に「湊線復興義援金」とご記入ください。
※住所・氏名(団体名)・電話番号もご記入ください。
※振替には所定の手数料が別途かかります(ATM利用で3万円未満は80円、3万円以上は290円です)。
※払込時に郵便局で発行される受領証で義援金の預かり証に代えさせていただきます。

現金で直接の場合

フッカツボ
「ふっか壺」(復活壺)をつくりました

※「ふっか壺」は湊線復興義援金の募金受付箱です。
※応援団員が活動している**土日(午前9:00~午後3:00頃)**は那珂湊駅待合室に置かれています。
※それ以外の日時には、**那珂湊駅前の食堂「日の出屋」**さんに委託しています。
※「ふっか壺」への募金には、預かり証(領収証)は発行しておりません。ご了承ください。

絶対復活させるぞ! 「湊線」

大畠国土交通大臣が被災現場を視察



大畠章宏国土交通大臣ら国交省の一行が23日午前、溜め池決壊復旧工事現場の視察に訪れました。現地では本間源基市長、後藤正美市議会議員、佐藤応援団長らが出迎え、吉田社長が同大臣に被災状況を詳しく説明。手厚い国の支援を求めました。

大畠大臣(左)に説明する吉田社長(右)。中央は本間市長

初日の出列車の案内したよ

那珂湊一小6年 田村 幸之佑 くん

ぼくが、ひたちなか海浜鉄道湊線の応援団員に入ったのは、3年生の時に友達にさそわれて一回いっしょに駅に行ったからです。そのときに団員に入り活動することにしました。応援団は土曜日、日曜日を中心に活動しています。ぼくは土曜日に駅に行っています。

4年生になり、ぼくははじめて初日の出列車に乗りました。少しきんちょうしましたが、あじがうら駅について、初もうでに行き一年のおはらいをもらい、そのあとに初日の出がきれいに見えてよかったです。

それから一年、5年生になり今年も初日の出列車に乗りました。今年は、日の出が約20分おくれたので予定した列車に乗ることができませんでした。なので、いそぎ駅とあじがうら駅へのゆうどうをしました。ぶじに全員をゆうどうすることができたのでよかったです。今後、いろいろな活動をして湊線をきれいにしていきたいと思っています。

※2月に書いていただいた作文です。学年は現在です。



初日の出列車の誘導任務を終えてほっとする田村君(2011元旦)

応援団関連のwebは湊線応援メッセージがいっぱい ぜひご覧ください

- ◇応援団ホームページ <http://minatrain.wordpress.com/>
- ◇応援団フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
- ◇応援団ツイッター <http://twitter.com/keha601>
- ◇おさむツイッター http://twitter.com/minato_osamu
- ◇線路脇の風景(ブログ) http://blogs.yahoo.co.jp/magical_brothers_diorama_office

連載!! No.18 湊のおさむくん



大きな亀裂が入り大がかりな工事が必要となりました。各駅も那珂湊駅以外の設備はホームの沈下など軒並み被災しました。

湊線へ善意続々

那珂湊RCで駅名標と復興資金30万円

建築から約100年がたつ那珂湊駅は、震災直前に屋根瓦の葺き替えなど改修工事を完了したことが幸いし、震災で大きな難を逃れました。この改修工事にあわせて、那珂湊ロータリークラブ(根本博会長・会員30名)では、駅舎正面の屋根に新しい駅名標を寄贈する計画を進めていましたが、4月25日にこの駅名標の除幕式を行うとともに、新たに湊線復興資金として30万円を海浜鉄道に贈ることを決定しました。新しい駅名標はステンレス製で海浜鉄道のロゴマークも入ったデザイン。復興の新たなシンボルになると期待されています。

地方鉄道会社からも支援の輪

湊線の被災を知った地方の鉄道会社やその関係団体からも支援の輪が広がっています。これまでに千葉県内のいすみ鉄道と銚子電鉄、福島県の会津鉄道の愛好団体、富山地方鉄道有志、和歌山電鐵、兵庫県の北条鉄道、それに昨年湊線を訪問したJR東日本労組などが海浜鉄道や応援団を訪問、激励するなど温かい支援を表明しています。湊線グッズや切符の地元での販売、義援金での支援など、本当にありがとうございます。

お帰りなさい「205」

震災発生時に中根駅に停車中で、危うく難を逃れた気動車205が4月15日、那珂湊駅に約1か月ぶりに帰ってきました。205は自走も可能でしたが、この日は慎重にアニマル列車とホキ(保線工事用貨車)との3輻連結で「帰宅」。小気味よいエンジン音も健在で駅職員や応援団員らを安心させました。

左端が気動車205



5/1緊急イベント 野菜直売会と7輻連結撮影会

- 野菜直売会**
 - ・5月1日(日) 9:00~11:30
 - ・那珂湊駅1番線ホームに停車中の3710-02気動車車内
 - ・入場は無料です
- 7輻連結撮影会**
 - ・5月1日(日) 13:00~16:00
 - ・那珂湊駅構内
 - ・入場には入場券(150円)または応援券付フリー切符が必要です。